

生野区地域福祉ビジョン2023-2026 パブリック・コメント 結果公表用資料

整理番号	ご意見(一部修正後)	当区の考え方
4ページ:基本理念としての「異和共生」について		
1	<p>現行の生野区政3本柱の一つが「多文化共生」であり、多国籍の外国人と共生し「世界につながる。」と表明しており、生野区のホームページにも記載しています。</p> <p>しかし、今回の生野区地域福祉ビジョン素案には、「多文化共生」という表現が、全く記載されていません。素案の「共生」の表現をすべて、これまで通り、「多文化共生」に修正してください。</p>	<p>生野区には、国籍や文化、生活習慣など、様々な違いを有する約60の国や地域につながる住民が生活しています。そのため、お互いのことを知り、それぞれの違いや個性を受け入れ、すべての人が自分らしくいきいきと暮らすことができる共生社会に向けたまちづくりが求められています。</p> <p>生野区のまちづくりに共通する基本理念として、「異なったまま、和やかに、共に生きる」＝「異和共生」の考え方があり、その前提となるのは、互いの壁を支える文化や歴史を尊重し大切にすることであり、多文化共生の概念も包含されています。</p> <p>現在策定を進めている地域福祉ビジョンは、上記理念を踏まえ、外国人住民を含むすべての住民を対象に、地域福祉をより一層推進するための指針として策定を進めています。</p>
9ページ:(4)区内における主な外国人住民の増加率推移について		
2	<p>「外国人住民」という表記を、「外国籍住民」の表記に修正してください。</p>	<p>近年、我が国に入国・在留する外国人が年々増加していること等を背景に、市区町村において、外国人に対する基礎的行政サービスを提供する基盤となる制度の必要性が高まり、外国人についても日本人と同様に住民基本台帳法の適用対象に加えるとともに、外国人の利便の増進及び市区町村等の行政の合理化を図るため、改正「住民基本台帳法」が平成24年7月9日に施行され、日本の国籍を有しない者のうち、同法で定めるものであって市町村の区域内に住所を有する者を「外国人住民」としており、本ビジョンにおいても、市内における外国籍の住民数等、統計に基づく表記は「外国人住民」としています。</p>
3	<p>「生野区は、従前から外国人住民の比率が約2割と市内で最も高く…」の記述を、「生野区は従前から在日韓国・朝鮮人を初めとする外国籍住民の比率が市内で最も高く…」に修正してください。</p>	<p>生野区には全区民に占める外国人住民の比率が大阪市24区の中で最も高く、この度策定する地域福祉ビジョンでは、外国人住民を含むすべての住民を対象として地域福祉をより一層推進するための指針として策定を進めています。</p> <p>[なお、いただいたご意見を踏まえ、本文において、下線部分を修正しました。 P9 生野区は、従前から在日韓国・朝鮮人を初めとする外国人住民の比率が大阪市24区の中で最も高く、令和2年国勢調査では全国でも最も高くなっており、現在は約60の国や地域につながる住民が暮らしているまちです。]</p>

整理番号	ご意見(一部修正後)	当区の考え方
14ページ:住民主体による福祉コミュニティについて		
4	外国人住民数の増加のなか、仲良くなるためには相手を知ることだと思います。交流の居場所をつくり、共に学び文化的背景の違いを知ることによって相互理解も深まると思う。	本ビジョンにおいては、外国人住民が地域住民の一員として共に触れ合い学びあえる交流機会の提供等を通じて、地域コミュニティへの参画・協働を促すこととしております。外国人住民の方々が、それぞれの地域コミュニティの特性に応じた参画・協働を進めていけるよう促してまいります。
25・26ページ:共生社会の推進について		
5	「共生社会」の表現をすべて、「多文化共生社会の実現」に修正してください。	<p>生野区には、国籍や文化、生活習慣など、様々な違いを有する約60の国や地域につながる住民が生活しています。そのため、お互いのことを知り、それぞれの違いや個性を受け入れ、すべての人が自分らしくいきいきと暮らすことができる共生社会に向けたまちづくりが求められています。</p> <p>生野区のまちづくりに共通する基本理念として、「異なつたまま、和やかに、共に生きる」＝「異和共生」の考え方があり、その前提となるのは、互いの壁を支える文化や歴史を尊重し大切にすることであり、多文化共生の概念も包含されています。</p> <p>現在策定を進めている地域福祉ビジョンは、上記理念を踏まえ、外国人住民を含むすべての住民を対象に、地域福祉をより一層推進するための指針として策定を進めています。</p>
6	外国ルーツ住民の比率は、全国で最も高いかと思います。	<p>生野区には全区民に占める外国人住民の比率が大阪市24区の中で最も高く、この度策定する地域福祉ビジョンでは、外国人住民を含むすべての住民を対象として地域福祉をより一層推進するための指針として策定を進めています。</p> <p>[なお、いただいたご意見を踏まえ、本文において、下線部分を修正しました。P25 生野区は従前から在日韓国・朝鮮人を初めとする外国人住民の比率が大阪市24区の中で最も高く、令和2年国勢調査では全国でも最も高くなっており、現在は約60の国や地域につながる住民がそれぞれ違った言語や文化を持ち暮らしている多国籍なまちですが、最近では、ベトナムだけでなく、ネパールやフィリピン、インドネシア国籍の住民の増加率も高くなっています。]</p>

整理番号	ご意見(一部修正後)	当区の考え方
25・26ページ:共生社会の推進について		
7	26ページ1行目について、生野区における在日の方々の集住の素地は1910年～1920年代なので、「何十年」ではなく「100年を超える」と思います。	<p>生野区には全区民に占める外国人住民の比率が大阪市24区の中で最も高く、この度策定する地域福祉ビジョンでは、外国人住民を含むすべての住民を対象として地域福祉をより一層推進するための指針として策定を進めています。</p> <p>[なお、いただいたご意見を踏まえ、本文において、下線部分を修正しました。 P26 生野区には長年にわたり築かれてきた「ご近所付き合い」に多文化共生がなされているという良さもあり、それが「生野区らしさ」の一つであると考えます。]</p>
8	26ページ8行目について、「配慮した体制」は削除してください。	<p>本ビジョンにおいては、外国人住民が地域住民の一員として共に触れ合い学びあえる交流機会の提供等を通じて、地域コミュニティへの参画・協働を促すこととしております。外国人住民の方々が、それぞれの地域コミュニティの特性に応じた参画・協働を進めていけるよう促してまいります。</p> <p>また、施策・事業の推進にあたっては、外国人住民の方からの意見や助言をお聞きし、外国人住民のニーズに合ったものとするのが重要と考えています。</p> <p>[なお、いただいたご意見を踏まえ、本文において、下線部分を修正しました。 P 2 6 そういった問題を踏まえ、まちづくり、地域福祉の推進にあたって、外国につながる住民も含めた誰もが健康で幸せに暮らしていける共生社会を実現するための体制づくりが求められています。]</p>
9	26ページ下から2行目について、「必要に応じて」は削除してください。	<p>P 2 6 これら外国につながる住民を取り巻く課題解決のため、今後とも、地域住民や地域団体、NPO等の多様な主体と協働して、外国につながる住民が行政サービスや地域コミュニティなどから取り残されることがないように、<u>ご意見などをお聞きしながら、さまざまな取組を進めていきます。</u>]</p>

整理番号	ご意見(一部修正後)	当区の考え方
その他全般について		
10	<p>現行の「生野区地域福祉計画」で未達成の施策については、今回の素案にも盛り込むように修正してください。</p>	<p>本ビジョンは、生野区における地域福祉に関する課題を再認識し、今後の地域福祉のめざす方向性を定めたものです。 個別の取組へのご意見は、今後の施策展開において参考にさせていただきます。</p>
11	<p>外国籍住民が生野区福祉施策の実現に参画することができるような施策を実施してください。</p>	<p>本ビジョンにおいては、外国人住民が地域住民の一員として共に触れ合い学びあえる交流機会の提供等を通じて、地域コミュニティへの参画・協働を促すこととしております。外国人住民の方々が、それぞれの地域コミュニティの特性に応じた参画・協働を進めていけるよう促してまいります。 また、施策・事業の推進にあたっては、外国人住民の方からの意見や助言をお聞きし、外国人住民のニーズに合ったものとするのが重要と考えています。 個別の取組へのご意見は、今後の施策展開において参考にさせていただきます。</p>
12	<p>外国籍住民が、民生委員児童委員に就任出来るように、日本政府、総務省、厚生労働省に働きかけてください。(同趣旨のご意見1件あり)</p>	
13	<p>在日韓国朝鮮人と共に暮らしてきた地であること、それにより「地域の知」が育まれてきたことを、もう少し追記したほうが良いと思いました。</p>	